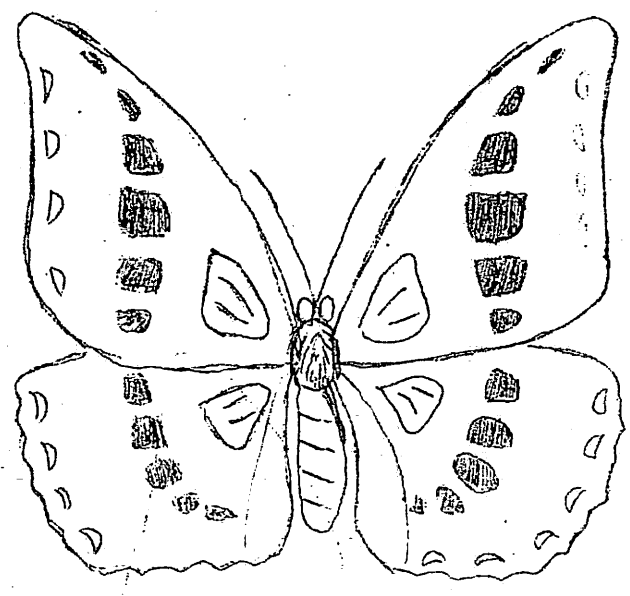


82

五山仙人  
山行報告



信州大學山岳會

# — 目次 —

- 南アノル7°又縦走 ———— 2
- 北アノル7°又縦走 ———— 4
- 中アノル黒川谷 ———— 6
- 幕 岩 ———— 6
- 北鎌尾根 ———— 10
- 北俣谷 ———— 11
- 縦縞登攀 ———— 13
- 中御所谷 ———— 14
- 屏風岩 東縁 ———— 15
- 畳岩～アノル6～滝谷 ———— 16
- 奥又白 ———— 20

## 南アルプス縦走

メンバー： 長かとり(6)、中村、宮本、長谷川、斎藤、井上

期間： 7/19 ~ 7/30

記録：

7/19 ● 北之渡(12:20) — 易老岳(13:45)

平岡駅では心々降り、小降りになつた。たゞと忘ると、また激しく降り出す。林道を左に見送り、(平岡)水平で登山道に行く。しばらくして易老岳の無人小屋に到着。

7/20 ● T.S(5:00) — 易老岳(13:00) — 光岳直下(16:00)

農村から登山道を見つけ、北中峠を越す。道は、軒高的にはきりしないところもあるが結構登りやすい。易老岳は、森林限界には達していない。ゴミも散乱している。頂上らしくない。イザルが音の西側が天を叩く道は、長く感じた。

7/21 ◎ T.S(4:40) ⇨ 光岳 — 希望峰 — 上河内岳 — 聖平(13:30)

光岳をピストンし、易老岳から希望峰へ。風が強く少し寒い。茶臼岳北のピーク付近で鹿を見かけた。上河内岳までは長く感じた。聖平に着いて肉も無く雪ももたつた。たゞ立に等しい。

7/22 ① T.S(4:55) — 聖岳 — 兔岳 — 百箇洞(14:40)

荒川小屋まで予定だったが、おんが(1年3)疲れきつてでーすがあがらず。聖岳から赤石岳が大きく見えた。百箇洞までには下り、タウンが激しく、個人的には、一番つらい日だった。

7/23 ◎→◎ T.S(4:35) — 赤石岳 — 荒川中岳 — 高山東(13:15)

赤石岳へは、懸っていたより早くついた。赤石岳の東面のカーブにはだいぶ残雪があった。荒川小屋まで下り、中岳に向かう。荒川岳から高山東までの下りは長く感じた。

7/24 ②→③ T.S (4:45) — 小河口内岳 — 山伏峠 — 山伏小屋 (10:30)  
朝から、長谷川には、フェールの曇りがかり、風も強たく、小河口内岳頂上  
では、ハスマツたかくおて流れた。霧がし終った頃から雨が降り始め夜  
には、東風をとともう強い雨になった。

7/25 ● 沈殿

雷雨の中行動して、手パーテも結構な。長谷川が、7おれと霧さ  
の痛みで下山を申し出るが直さ入られぬ。

7/26 ● T.S (8:00) — 塩見岳 — 熊の平 (14:55)

7:00頃、やや風を弱、曇ったので出発。縦線は強い雷雨だった。  
塩見から、熊の平までは、わかるんだ杉林林帯。

7/27 ●→④ T.S (4:30) — 南岳 — 北岳 — 両保小屋 (15:05)

出発直前に降り始め、森林限界を超えると、痛いくらいの雷雨となる。  
南岳・北岳の縦線は、夏とは思えないほど暑かった。両保までは急下  
降で、ひざが痛く、長谷川、斎藤は苦しうであった。

7/28 ④ T.S (4:25) — 野呂川出合 — 北沢峠  $\leftarrow$  仙丈岳 (8:30) (14:10)  
長谷川、斎藤のひざの調子が悪く、予定を変更し、北沢峠で、林道を寺く、  
峠で二人をバスで下山させ、残りで仙丈岳をピストン。

7/29 ④→④ T.S (4:35) — 双子山直下 — 甲斐馬 — 六合石堂 (14:45)  
二人下山したので荷が重くなった。六合石からは正面の岩を乗り越え  
らされた。9時過ぎに石堂に着き、準備を干したり、日なたぼっこをした。

7/30 ④→④ T.S (5:30) — 赤河原 — 丹波荘 — 戸台口 (11:00)  
朝食の頃、雨が降り始め、止み久らにならぬので、赤河原から下山する  
ことに決定。赤河原へ降り手直は木ハシゴが古く、2度折れた。赤河原  
で来ると晴れ上がり、戸台食堂のビールはうまかった。

※コメント — まよまに帰った日は、1日だけで、ほとんどのが、雨中  
行動であった。全体的に楽しいふんいきはな、暗く、陰湿な  
山行でした。 (記・井上) — 3 —

## 北アルプス縦走

メンバー：吉賀(仏)、日高、小久保、中村、須崎

期間：7/19～7/26

### 記録

7/19 ①-① 松本—白馬—猿倉—鍾温泉(14:00)

小久保の不調にネリ、思ったネリ時間がかかり、鍾温泉までとなる。

7/20 ①-② T.S.—白馬鐘—白馬岳—清水岳(16:30)

T.S.から稜線まで明るいガラ場を行く。稜線から鐘までは、時間がかかった。白馬山頂はガスで展望なし。晴間切れで、清水岳付近をT.S.とする。

7/21 ① T.S.(4:20)—祖母谷温泉—けやき平—阿曾原(7:30)

長い下りも終わると、祖母谷温泉に出て、けやき平までは車道を40分、日電歩道に入るまでの道が急登で少し暑く最悪。水平歩道は、キスリングがひらからぬいぶらに慎重に歩く。奥鐘山の岩壁が見事である。志倉谷のカーブした真暗なトンネルがありヘッドライトを出す。阿曾原小屋が見えてから最後の下りが長かった。

7/22 ① T.S.(6:00)—仙人湯小屋—池平小屋(16:30)

阿曾原峠まで急登。ここからは、仙人谷の左岸をトラバースぎみに登って行く。仙人湯小屋から1時間程から雪渓が始まりつめて、仙人池に出る。ここは、幕営禁止のため、池平小屋まで行く。剣(千ネ、クレオパトラ、ハル峰)のながめは、感圧的である。

7/23 ① T.S 6:00 — 真砂沢ロッジ — 剣沢小屋 (17:00)

北股の雪渓を下り、三ノ鬼雪渓と出会い、すぐ橋を渡り、二股に着く。真砂沢ロッジまでのんびりと河原を歩く。剣沢雪渓は、長次郎谷、平蔵平谷と見ながら快調に登り、剣沢小屋天場につく。設営直後に木が雨。

7/24 ②-③ T.S 6:10 — 大三女山 — 一ノ越 — 五色ヶ原 (14:20)

別山乗越から、別山、真砂岳を巻き、立山山頂には、あ、けなく着いた。一ノ越までが、いやな急なガラ場で、人が多くうんざりする。よくおれで落石が起らないのが不思議だ。ししが岳手前で、雨が降り出す。カミ峠では、ジクジクの下り、1時前後登りかえすと、五色ヶ原へ出る。

7/25 ④ 三ノ股

7/26 ⑤-⑥ T.S (7:00) — 平ノ渡場 — 黒部ダム (13:30) — 松本  
朝から雨で、五色ヶ原山荘に着く頃に強雨となる。2年生の協議の結果下山と決定した。意気揚々として下り平ノ渡小屋からは、黒部湖畔のトラバス道を行き、黒部ダムに着く。トローリーバスで扁沢。タクシーで直接松本へ帰り合宿を終えた。(記: 須山奇)

○ 中ノ小黒川峡谷

期) 7/15

Member) ① 日高、井上、斎藤、小幡、中村

7/15 ①

花小場 7:00 - 三段の滝 (15m) 上 9:00 - 大石 10:00 -  
 - 西駒山荘 13:30 - 花小場 15:55



初めの沢登り(3)が、難しいところ  
 なく 結構変化あり楽しめた。  
 最後のヤマゴ(ハイマツ)は横小の  
 せい、15分の30分くらいかとても長く  
 感じた。(井上)

○ 幕岩

期) 7/27 ~ 7/31

Member) ① 藤井、花村

7/27 ① 松本 - 七倉 13:10 - 大町の宿 14:00

7/28 ①/② 島山ルート 5.5h

B.S. 6:00 - 取付 7:00 - スバインド 10:00 ~ 10:30 - 終了点 13:00  
- 右後下降 - B.S. 16:00

- 1P IV. A0, 40m  
ルニビ状スラブを登り、チムニ-状滝下テラスへ。
- 2P A2, 40m  
チムニ-左壁を人工で登り、チムニ-落日でアゲビレー。  
ピ-は良くういている。
- 3P IV+, 40m  
ルニビ
- 4P IV, 40m  
ルニビよりバント状スラブ。すばらしいフリ-の部分である
- 5P IV+ 40m  
ニバントより左上スラブ。
- 6P IV- 40m  
スラブをス広間テラスへ。
- 7P V- 30m  
ス広間テラスより中央カンテラにのびるバントを左へ入り  
ブッシュ下のテラスへ。バント入口の凹角が悪い。
- 8P V 30m  
ビレーポイント頭上の木を右より直上し、クラックをレシバックで登り。  
右のカンテラより取付。滑り込(ニ)ジェットル基部へ。
- 9P V. A1, 35m  
ジェットルを A1 で登り左ハンクより悪い小ジェットル。
- 10P IV, A1, 30m  
小カンテラを左へ渡り、小フェースを直上。途中で面倒(ニ)57  
A1 2 point 使用。
- 11P 40m  
ブッシュ帯を左上し、滝下の終了点へ
- 12P 40m  
更にブッシュ帯を左上し、滝下。終了点へ。
- 下降 右壁にビエス滝を 2 pitch 下降後右後下降。

-ク-



7/29 ① 急慢ハヨシ。ワカレヨ直。

7/30 ①/② 山嶺ルート 12h

B.S. 5:30 - 山嶺取付き 7:00 - 12 pitch 終了 19:00

1P IV<sup>-</sup>, A1, 30m 7/31 B.P. 8:30 - 終了 9:30 - B.S. 12:00 - 七倉 = 76m  
取付きをやく分からすかすり張る。天洞穴右の小スラブより10m  
右のスラスより、A1で7-スに取付く。  
左へ行、(=) 右へ行、(=) 右へからスラスを越え、テトラ下  
スラスへ。全体に取付きが悪い。

2P A2, 40m  
四角より四角右7-スを巻り、ハンクを越えオ1スラブへ。  
ピレポイント不良。

3P A1, V<sup>-</sup>, 40m  
オ1スラブをメカネハンク右端下まで。部分的なフリーバトス道。  
ピレポイントなし。

4P IV<sup>+</sup>, 20m  
小滝右の7-スの部分を超え、オ2スラブへ。  
この地点より上部分まで1Jピレが全部で5本程ある  
。またピレピレは全くなし。

5P III~V, 50m  
オ2スラブ右端より20m程左の部分と巻る。  
快適なスラブ。

6P IV<sup>-</sup>, 40m  
スラブ。

7P IV<sup>-</sup>, 40m  
スラブ。ここで30分程度止。快適である、(=) の1Jまでで、(=) の  
り恐怖が始まるのであり(=)。

8P II, 30m  
上部燈基部を右へトラバース。

- 9P  $\overline{D}, A_0, 20m$   
 踏跡最奥より10m左の凹角にカニ木を目指して登る。  
 この山は山嶺が2ルートと思われ、  
 カニ木より右下のピナクルへアツアツラインと登り返しにより移る。
- 10P  $\overline{D}, A_1^+, 20m$   
 ピナクルより人エラインを直上し、フラックを登りハング下のブッシュテラスへ。  
 ピンのきりが悪く死ぬ思い。小休止。
- 11P  $\text{III}, 15m.$   
 左トラバースし、テラスへ。
- 12P  $A_1^+, \overline{D}, 40m$   
 木を2m登り、バンド状の人エラインを取る。ルートは逆L字型  
 に伸び、全体は4m程のハングである。ハング抜け口とその  
 上の草付が非常に悪く、ガイルの流氷も最悪。ビレは不安定  
 な草付の上でハーケン1本で行なう。
- 13P  $A_1, \overline{V} \text{ (one point)}, 15m$   
 5m直上し、左へアツアツトラバース。  
 テラスへの抜け口がフリー。恐怖の一字。  
 ここまで暗くなりヒバーク。
- 14P  $A_1, \text{IV}, 20m$   
 テラス上の木へA1で登り、バンドを左へアツアツトラバースし、  
 右下のテラスへ。
- 15P  $A_1, \text{III}, 30m$   
 小ハングを直上し、緩斜帯へ。
- 16P  $\text{III}, 20m$   
 ルンゼ状スラブを登り、終了点へ。

下降 右稜 (pitch アツアツライン)。

(感想)

両ルートともフリーの要素が多く好ルートであるが、特に  
 山嶺ルートの場合、奥カ不逆の一字につきたようである。  
 全体に鋼索等にはビレが少なく、また人エが悪かった。

何うせ登るべからビビって行く向にどんとん登るべきであつたが  
1. 何としか入っていなハヒンを見ると何うしても身体が重か  
つた。

その後、丸二ヶ月、両者共に落岩ショツクにうなづかたであつた。  
と山にしては島ルートなんが登る人、尊敬します。

## ◎ 北鎌尾根

期) 8/3 ~ 8/5

Member) ① イケムラ, 小久保, 須崎

8/3 松本 = 信濃大町 出 七倉 8:50 - 名無避難小屋 11:30 -  
湯俣山荘 13:20

ほぼ平坦な車道歩きの後、1時間程樹林の中を歩くと湯俣である。

8/4 T.S. 4:20 - 干天出合 9:20 - 北鎌沢出合 11:30 - 北鎌沢JIV  
13:45  
独標前 T.S. 15:40

干天出合に至るまでの水俣川左岸にハコリケ所があり、ワザル  
を出す。干天出合の橋は壊山がかかっているが渡れる。天上沢の  
右岸から左岸へいく橋は完全に壊れていて川の中を渡らなくては  
難し。北鎌沢出合はほぼ平坦な地形で水が引いてく。北鎌沢は右俣を登る。独標前には、3つほど下りて天  
場があるが、おのづから、アノ人川が張山をくぐらぬので  
である。

8/5 T.S. 6:00 - 2873m 峰 7:00 - 槍ヶ岳山頂 9:31 - 横尾 13:30 -  
上高地 S.T. 16:00

独標は石に入ると巻く。そこからしばらく巻く道を  
次第に大きくなる槍を見ながらゆく。稜線に出てお  
巻く道に道と槍ヶ岳直下のコルで途中3m程のク

二一を登、つりして30分弱で穂ヶ岳山頂へつひ出す。  
穂ヶ岳山荘へ岩場を下り、後は穂沢を下降、横尾から上高地へ。

(復崎)

◎ 北俣谷

期) 8/3 ~ 8/7

Member) L.丸山 藤井 日高 宮本

行程 8/3 松本 7:22 発 ----- 泊 11:23 着 100  
小川 8:20 着 11:41 北俣小屋 2:00 着

8/4 ① T.S. 発 5:40 発

② マカリ谷出合 6:00

こまでの平均水量はひざ~腰下。流れもさほど強くない。しかし 2回程泳いでとしよう

③ 恵振谷出合 11:30

マカリ谷出合すぐの長瀬はこの時期水量も多く流れがきつ泳いで進むのは無理。77リもホールドスタンスがなく結局左岸を登り3時間近く高巻き小尾根を下降 20m アップサイルン 恵振谷出合は T.S. 無理。

ここから山甲のように突き出た<sup>左</sup>岸の小根を<sup>尾</sup>下り下降路がみづからないまま、長尾谷源頭 200M 程手前から下降し長尾谷沿いに降りる。

④ T.S. (長尾谷出合すぐ上の台地) 3:30 着

8/5 ① 6:00 T.S. 発

② 6:30 T.S. から 50M 程行ったところから 20M のアップサイルンで本谷におりる。

これより 200M 程行くと急流になり左岸を主に 773。

③ 8:15 白金谷

④ 9:35 白金ノ滝

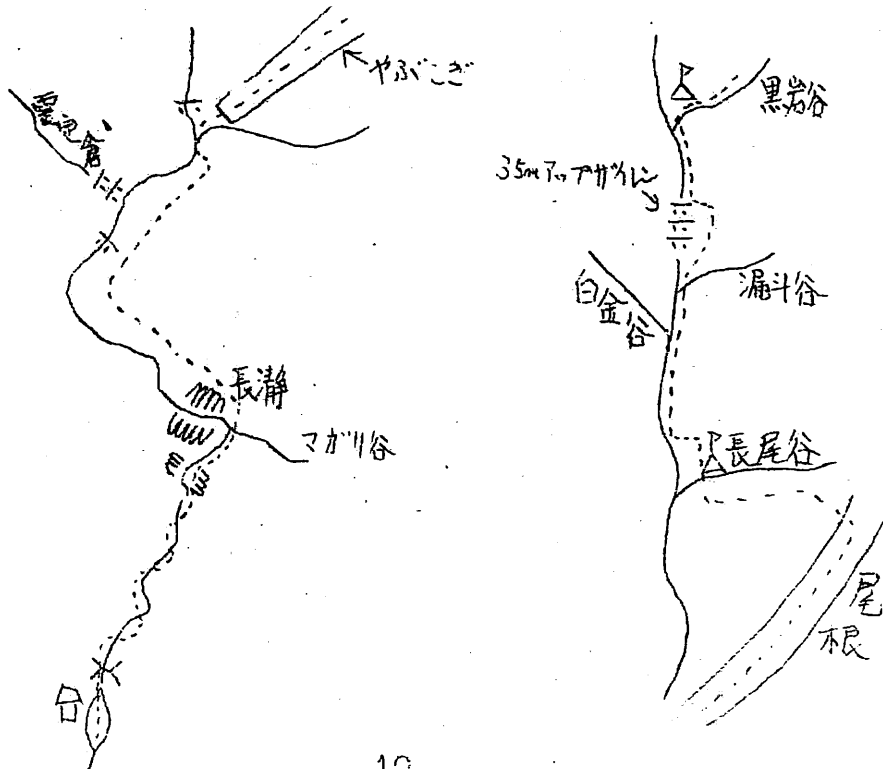
左岸高巻く。アップサイルンなくすくおりれる。

11:30 三段ノ滝  
 左岸を高さき 三段の滝！ すぐに 35m 下ッ 7ヶ所  
 3:10 黒岩谷 出合 T.S.

- 8/6 6:00 T.S. 発  
 6:40 二俣  
 9:10 黒岩平  
 11:00 長梅山  
 11:45 2400M 地点の地  
 ここでとまってあそぼうとなつて荷をひろげ昼  
 寝しているとオッサンたちが来て、たこは  
 アキマアんでいと言われ結局 前へ進む  
 18:45 蓮華 T.S.

8/6 下山

概念図



糸糸心豆 松本 8/7 ~ 8/10

Member) 細川 百賀

8/7 ①→② = 20:00 S.T. 横尾(橋の下)

8/8 ①→② → ③ 5:00 B.P. 6:00 T4F

1ルンセ 6:30 取付 終了 2:20

8 hour 8 pick

ポイント) ピッケルがとにかく邪魔な内面登攀が数ヶ所ある

3:30 最低JL(こより酒沢側へ20分下り水)

5:30 四峰(テボカ見)

8/9 ①→② → ③ → ④ 5:30 BP T1. 9:00

松高ルン 9:30 取付 終了 12:00

5 pick 2.5 hour (順番まちで時間くら)

1:00 ~ 1:50 雨降り III. IV J.L

2:20 前穂 白出 J.L 4:00

8/10 B.P. 5:10 北穂小屋 7:15

①→② → ③ P.7 ランク 早大 取付 9:50 終了 12:15

5 pick 2.5 hour

トーロ北壁 雲表 ~ 齒科大

取付 1:15 終了 4:00

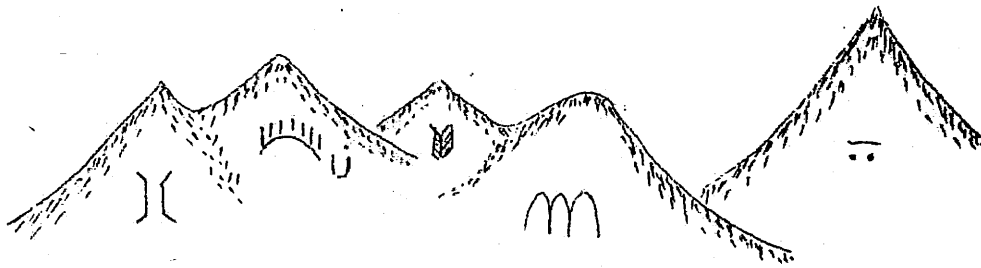
4 pick 2.7 hour

下部雲表もどき 上部はしかり

齒科大は雨は嫌だった。

酒沢 4:00 S.T. 10:00

ポイント) 雨だらけでシンドかった。いい経験になりました。



◎ 中御所谷

Member) △ 関, 藤田, 井上, 須崎

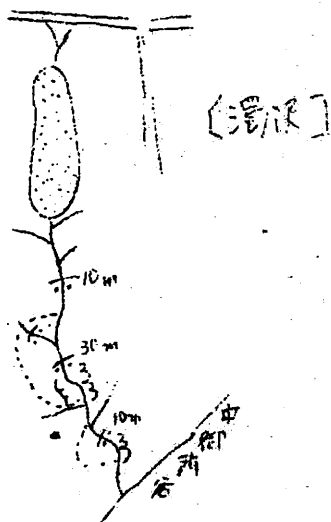
期間) 8/7 ~ 8/8

8/7 (土) ① 伊那 ~~→~~ 駒ヶ根 — (500平) — 濁沢逆行 — 千畳敷

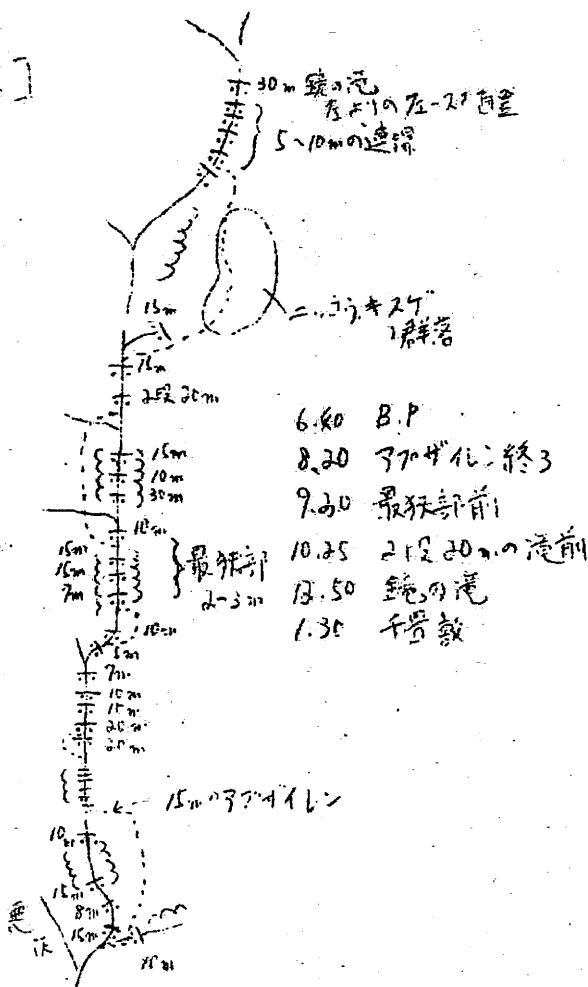
— 悪沢出合 B.P. 8.30

8/8 (日) ② → ◎ B.P. — 中御所谷逆行 — 千畳敷 — (500平) — 駒ヶ根

伊那



〔中御所谷〕

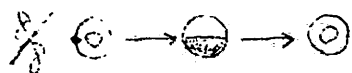


- 6.50 (500平)
- 7.55 10m の滝 高さ 終了
- 8.45 30m "
- 10.10 悪沢 末端
- 11.00 縦走路
- 1.00 千畳敷
- 8.30 B.P. (悪沢出合)

- 6.40 B.P.
- 8.20 370m の滝 終了
- 9.20 最狭部前
- 10.25 2段 20m の滝前
- 12.50 鏡の滝
- 1.30 千畳敷

◎ 屏風岩 東校

Member) 山, 田辺, 中村



5.30 S.T 出発

11.00 T<sub>2</sub> 着

12.30 取付

4.15 終了

5 pick 3.75 hour.

1×21 の屏風(谷子)のかけかえ、ホルトも(つかり)して

の途中雷雨にあつて死にかけた。

の屏風は 塗りかゝつた方が大変な 余り死に

かけた。1393。

記 中村]

—MEMO—



④ 2011 ~ ジャンダルム ~ 滝谷

Member) L. 茂呂 田淵 申村 井上

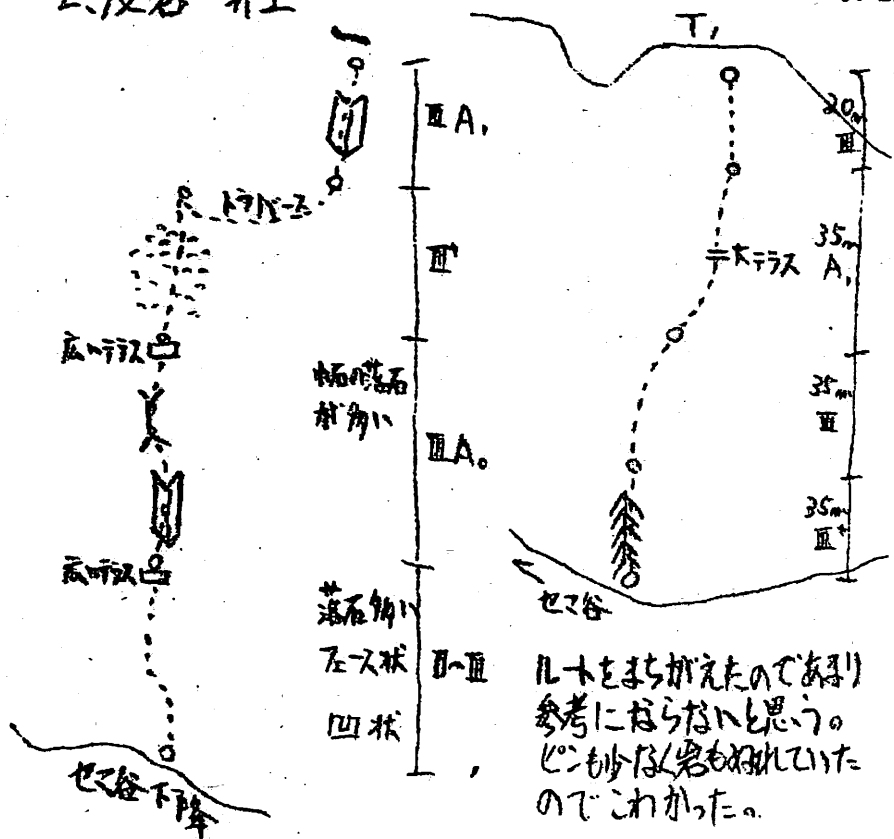
日程) 8/11 ~ 13

8/11 0 → ●

6:35 S.T. — 7:50 岳沢センター — 9:15 豊岩の72  
— 10:15 1本 — 12:25 丁の頭 — 2:00 ジャン  
ダルム取付点 — 4:45 終了 — 5:50 奥穂 —  
6:15 白根の31

ジャンダルム正面壁右ルート  
L. 茂呂 井上

ジャンダルムT1フランシ  
6:20



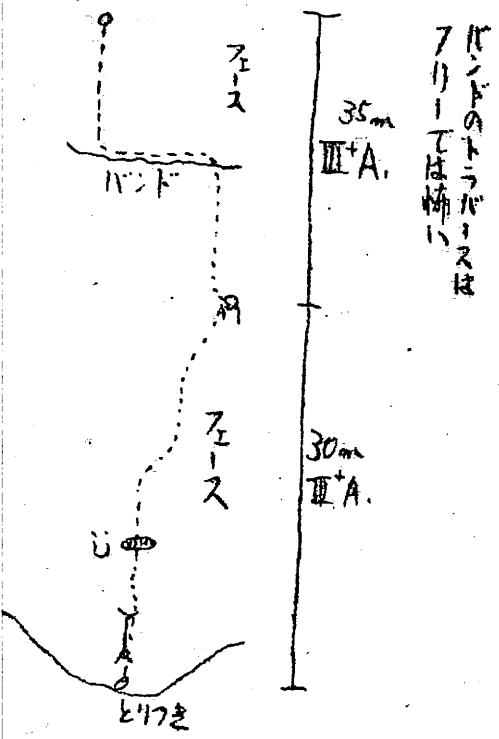
セマ谷下降から雨が降り初めて  
全体的に下る岩が打って  
怖かった。

水曜 (水) ●A

7:50 — 8:50 — 10:05  
 白雲丸 滝沢槍 南横町入

ドーム北面カ行

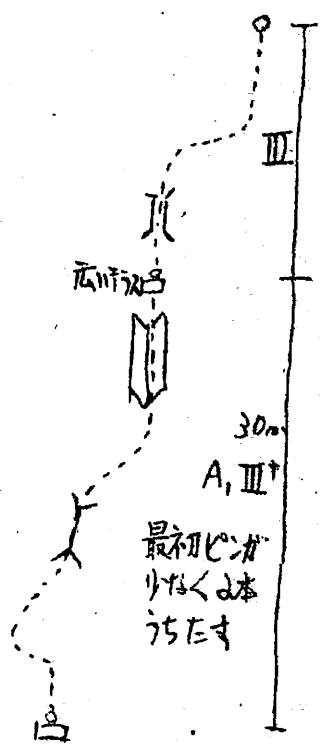
- L. 田淵 井上 12:30~13:20
- L. 茂呂 中村 13:50~14:45



7ピンドのトラバースは  
 フリートでは怖い

ドーム北壁左ルート左


- L. 茂呂 中村 12:30~13:15
- L. 田淵 井上 13:45~14:15



- ルート図通り。
- 簡単はアブミのかけかえなのでいい練習になる。
- トラバースのところはtopの方がよく

- 全々ちがうところを登ってほった
- ルート図を信用しないように、本当の左ルートはもっと右下です。
- 本当の左ルートはカンテから初れます。

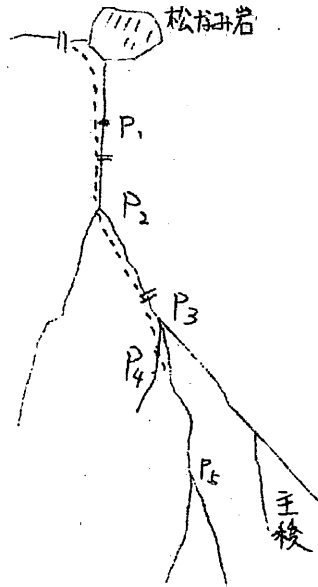
8/13 (木) ○ → ⊙

6:50 南後テラス — 7:55 本  12:00 南後テラス —  
2:15 横尾 — 4:30 S.T.

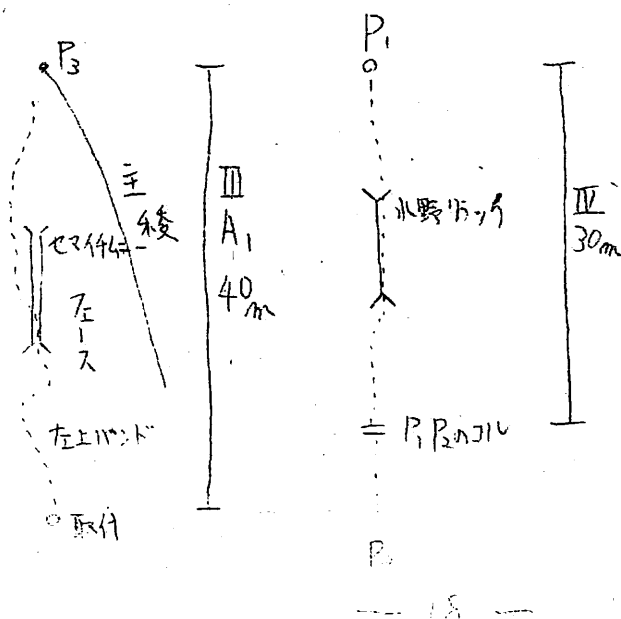
\*二尾根 (北山後)

△ 田淵, 井上

8:25 取付 — 11:00 終了



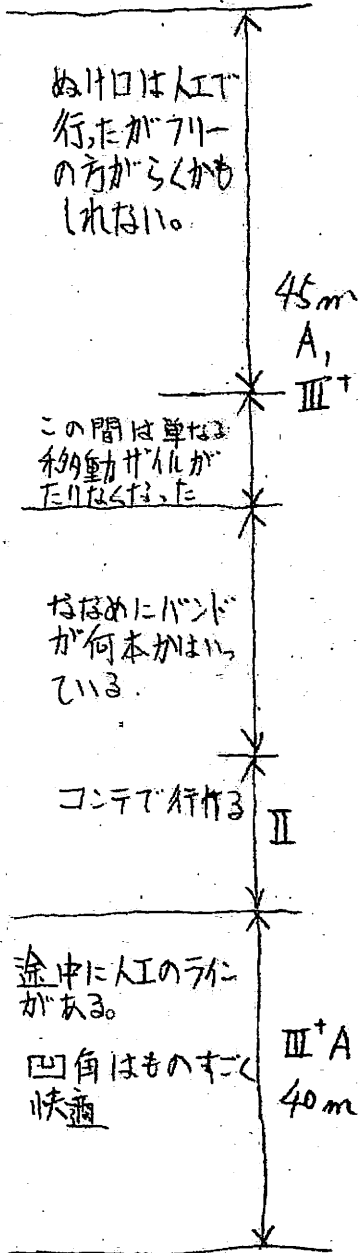
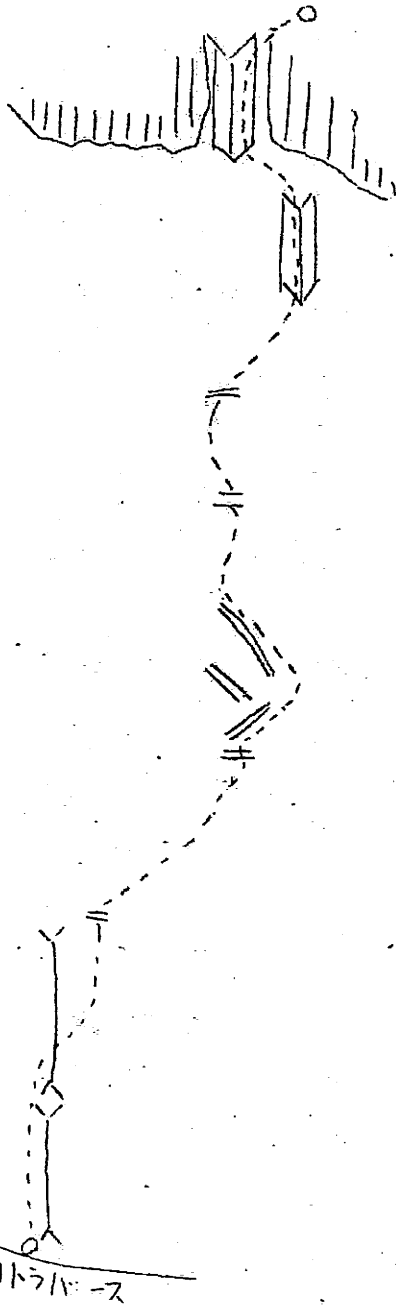
- 取付は主後をトウパス  
ぎみに下リ尾からはルト  
図ドリ P<sub>1</sub>に向、たが  
取付いたのは P<sub>4</sub>の支後  
であった。
- 核心部の水野クランクは  
クランクに足を押しつけて  
ぬけなかつた。Ⅲ級と  
なっているが僕は頭がボ  
ケていたので全々こわ  
なかつた。
- 二尾根からは一尾根、  
クランク尾根、ドーム全  
体、3尾根、4尾根、  
中村さんのオシと瀧  
谷の主な所はほと  
んど見る事ができた。  
(井上)



8/13 (木) ○→◎

ドーム雲表ルート  
L、茂呂、中村

8:00取付—10:45終了



C: 沢井トラバース

奥又池

8/18 松高ルンゼ別動隊の記録 (田淵, フジヲ, コガ)

② → ③ 出発 7.00 総戻 8.50 奥又池 1.00

途中松高ルンゼの出合を見失い、奥又池で雪訓後奥又池へ  
はなれ松高ルンゼを行き着いた。ここへ松高ルンゼはおい  
きい

8/19 北条新村ルート遊撃部隊

隊長: 田淵 支援隊長: 白賀

② → ③

取付 (松高隊と一緒に) 終了 (松高隊別行動)

VIのピッケルは田淵四ヶ所のAI 白賀は顔面がきつ  
のA0だった。

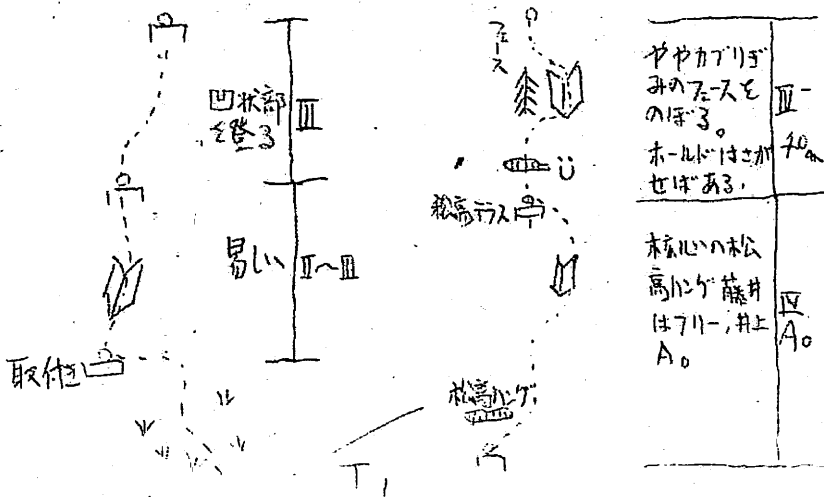
V, VIのピル

奥又池

総戻 7.00 出発 8.30

いや ~ 楽 (A0) 白賀

四峰正面壁松高ルン 上: 藤井, 井上  
取付 7.50 ~ 終了 9.30



夏山石人山行報告書

— 中原印刷公社 —

1982' 11' 9'